

★「地区大会」について

- 1. 概要 毎年1回、各地区で開催され、親睦・交歓、地区内の問題や国際ロータリー全般に関する問題の討論が行われ、ロータリーのプログラムの推進が計られる。ロータリーの活動を理解する為のパネル討論会が用意されたり、著名者の記念講演会が企画される。夫人の出席も奨励されている。
- 2. 開催日の決定 大会はガバナーの計画・主催で開かれるが、開催地と日取りの決定には地区内クラブ会長の過半数の賛成が必要とされる。
- 3. 重複をさけて ただし、開催日は、国際大会・国際協議会・地区協議会とかち合わないようには選ばなくてはならない。
- 4. 日程 また会期は2日以上、会食・余興等を除く本会議その他の主要な行事が少なくとも9時間以上を占める日程を組まなくてはならない。
- 5. 合同年次大会 R.I.理事会の許可を得れば、二つ以上の地区が連合して合同地区大会を開くこともできる。ただし、連続2年を越えての合同大会は望ましくないとされている。

◎ 出席報告

会員数	66名	出席率	函館北 1月20日	85.48%
出席	42名		函館東 1月19日	91.67%
欠席	24名		函館 1月14日	95.93%
他クラブ出席	11名		函館五稜郭 1月15日	祝日休会
出席合計	53名		函館亀田 1月18日	90.38%
除外者	4名			

次回・2月13日  
プログラム

「移動例会」

函館国際ホテル 午後5時30分



# 函館北ロータリークラブ会報

クリフオード・L・ダクターマン 国際ロータリー会長テーマ

まことの幸福は人助けから

REAL HAPPINESS IS HELPING OTHERS

伊藤康男会長 今年度のテーマ

「ロータリーは楽しく、ロータリーは優しく、そしてわずかの厳しさを、」



ガンビ山初秋（昭和46年作）故池田甚三郎画伯

《第1430回例会》 第30号 2月13日（土）

本日のプログラム

「移動例会」

函館国際ホテル 午後5時30分

★会長 伊藤 康男 ★幹事 藪下 義晴

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務所：函館市大手町5-10 二子ビル3階 23-3870

## 2月3日の記録

- ◎司 会 伊藤 康男 会長      ◎斉 唱 君が代、奉仕の理想  
 ◎ビジター 函館R.C.梅津佐助君・小林正夫君・白本正人君・大平淑人君、  
 函館東R.C.西山龍美君、函館五稜郭R.C.西村憲人君、  
 ◎ゲ ス ト 北部R.A.佐藤昭男君

★誕生祝 大和会員(1日)、西尾会員(14日)、加藤(久)会員(18日)、佐藤(剛)会員(25日)、金沢会員(26日)、寺西会員(28日)

- ◎会長報告 伊藤 康男 会長  
 ○新入会員紹介 鳥山光次氏(再入会)、推薦者:伊藤会長  
 ○1月30日分区内会長・幹事会で当北部R.A.15周年の協力を依頼し、地区大会、各区内クラブ100%登録の協力をいただきました。  
 ○千葉港R.C.と和歌山城南R.C.と友好クラブ締結式に会長・幹事が参加します。

- ◎幹事報告 清水 孝信 副幹事  
 ○I.M.の記録書が届きました。ご希望の方はお持ち帰り下さい。  
 ○2月17日の移動夜間例会は午後6時30分より「一乃松」で、会費5,000円です。  
 ○地区大会の家族・ゴルフの登録の確認をお願いします。  
 ○次週10日は13日(土)午後5時30分に移動し、例会後北部R.A.の15周年に参加します。  
 ○例会終了後、理事・役員会を開催します。

## ◎親睦活動委員会 近藤 章二 会員

## ニコニコBOX投入報告

- 伊藤 会長……新入会員を紹介します。  
 中野 会員……月初めです。  
 近藤 会員…… ” 受付です。  
 大和 会員…… ”  
 新 会員…… ”  
 中里 会員…… ”  
 山崎(剛)会員…… ” 新年会で一曲歌わされましたが、今日近藤さんからコーヒー券をいただきましたので。  
 小池 会員…… ” ” ”  
 金子 会員……今月はロータリーの世界月間です。  
 中川 会員……近藤会員からコーヒー券をいただきました。  
 山崎(剛)会員……家族にちょっと良い事がありました。  
 成沢 会員……21日皇太子様御成婚、当ホテルでごちそうになり新聞に出ました。又、前会の例会で娘が卓話しました。

- 松見 会員……月初めです。  
 大野 会員……ローターアクトの15周年の皆様の協力を感謝いたします。  
 石上 会員……月初めです。

◎卓話 「国際奉仕に関するロータリーの綱領」 小笠原 孝 会員  
 ロータリーの綱領の中で、国際奉仕は「奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」と述べられています。国際奉仕は、ロータリアン個人にとって、また、クラブレベル、地区レベルにおいて、さまざまに解釈することができます。

ロータリーの第4奉仕部門が生まれた当時、国々はまだ第一次世界大戦の後遺症から立ち直っていませんでした。戦争による荒廃がひどかったため、このままでは世界の存続はありえない、という考えが定着するほどでした。人類は相互に依存し合っており、平和を語るなら戦争防止のため、積極的に行動することが必要でした。

1921年のスコットランド、エジンバラの国際大会で国際奉仕をロータリーの綱領の一部に取り入れました。ロータリーの創始者、ポールP.ハリスはこう宣言しました。『1921年の国際大会は、すべてのロータリアンにとって大きな意義がありました。この国際大会を分岐点と思う人が多数おられるでしょう。きのうまでロータリーは子供でした。今日からは、世界に向かって、力強く第一歩を踏み出します。』

ロータリーの国際奉仕への正式参加は、この国際大会から始まりました。しかし、カナダ、マニトバ州のウィニペグに米国外の最初のロータリー・クラブが設立された1910年にロータリーの国際奉仕はスタートしたともいえます。ちなみに、ロータリーの発祥は1905年2月23日です。

また、1914年イングランドとアイルランドの八つのクラブが第一次世界対戦の直前に、故国を逃れたベルギーの難民を収容する援助を始めたときが発端だ、というひともいます。

1923年、日本の東京、横浜を壊滅させた関東大震災のあとには、世界のロータリアンたちが、4万ドル以上の資金を集め、それによって日本のロータリアンが、他の救援資金では賄えない救助活動ができるようになりました。

また、第一次大戦後には、『国際共同委員会』が、卓話者やロータリアン代表団、あるいは学生の海外交流を始めました。国際共同委員会はフランスとドイツのクラブの交流から始まり、現在、世界的規模で運営されています。ロータリーが発展するにつれ、地域大会が必要になりました。

第1回地域大会は、ハワイのホノルルで開かれました。地域大会の目的は、国際大会と同じくお互いの親睦と理解を深めるとともに、意見を交換する場を提供することです。国際大会開催地から遠く離れた地域に住むロータリアンに、ロータリーの国際的会合に出席する機会を与えるものです。

ロータリーの発展につれ、ロータリーが花開くには条件が一つあるということが明らかになりました。それは人権尊重であります。自由、正義、宣誓、人権尊重のないところにロータリーは生きることはいけません。ロータリーのアイディアも普及はしません。これは、キューバのハバナで開かれた国際大会で採択さ



れた『人権尊重』決議です。

ほかにも画期的な出来事がありました。第二次世界大戦中の1942年に、各国から文相及びオブザーバーが出席して、教育および文化の広範囲にわたる交流をはかるための機構について検討しましたが、これから後のユネスコが生まれることになったのである。『戦争は人々の心の中で始まるのだと考えれば、平和を守る砦が築かれるのも人間の心の中にある』というユネスコ憲章の前文は、世界中の平和を愛するすべての人々に対し、なにをすべきかを示しています。

第二次世界大戦の終わった1945年には国連救済復興機関UNRRAが、米国およびカナダのロータリーに対し、戦争で被害を受けた地域の住民のために衣料を集めるよう要請しました。両国のすべてのクラブは直ちにこの要請に応じて立ち上がりました。例えば、テキサス州ヒューストンのクラブ会員たちは、衣料を150トン以上も集め、ヨーロッパに送り、また、マサチューセッツ州の小都市グレート・パーリントンでは10トンの衣料を集めたのです。

1945年の春には、各国の政府代表や顧問たちが、米国のサンフランシスコに参集しました。

そしてそこで46カ国が国連憲章を採択したのです。ここに参加した代表団や顧問たちの中には、ロータリアンが49人も入っており、そのうちの1人、国際ロータリー元副会長カルス・ロムロは、後に1949年の国連総会で議長になりました。

ロータリアンは、米国とカナダの国境沿いにいくつかの平和公園をつくり、150年に及ぶ両国間の平和を祈念しています。国際協調をよく示すもう一つの例を挙げます。ブラジル、アルゼンチン、パラグアイのクラブによって構成される『隣接3カ国委員会』は、イグワス川に橋を架けようという1970年代の運動の先頭に立って活躍しました。橋を架けると、3カ国が初めて地続きになります。1985年には、南米大陸最長の橋の一つであるこの橋の除幕式が行われ、クラブ会員たちも多数列席しました。

また、かつて問題になったチリとアルゼンチンの国境に立つ大きな『アンデスのキリスト像』の足下にはロータリアンの建てた碑があり、そこには『たとえ、この山が崩れ落ちることがあろうとも、チリとアルゼンチンの両国がキリストの前で誓った平和が破れることはない』という碑文が刻まれています。アフリカ、アジア、ヨーロッパ、北米、南米及び中米のどこかで災害が発生しても救援に必要な食品、医薬品、衣料、物資などを求める声に、ロータリーは必ず応えます。

#### <指 針>

個々のロータリアンが、ロータリーの国際奉仕の目標を遂行するとき、どういった行動をとれば最も効果的でしょうか？ それは、所属クラブを積極的に支援することです。クラブには国際レベルで奉仕する機会もアイデアもあります。

これまでの成果を上げてきたプログラムもあります。

世界社会奉仕、RIのロータリー財団への支援、青少年交換、国際的会合……この四つがロータリークラブの国際奉仕への参加方法の主なものです。国際奉仕委員会の熱意いかんによって、どのくらいの成果が上げられるかが決まります。国際奉仕担当理事は、まず、世界社会奉仕、ロータリー財団、青少年交換の3分野を担当する委員を任命します。クラブの規模によって小委員会を設置したり、個人を担当者としてしたりします。ですが、とにかく基本的任務は、ロータリーの国際奉仕プログラムと活動にできるだけ多くの会員を参加させることです。

#### <世界理解月間>

国際奉仕ならびにその目標（世界理解、親善、平和の推進）の重要性を際立たせるために特別月間（2月）が設けられています。

『世界理解月間』がそれで1905年のロータリー創始日に当たる2月23日を含んでいます。この月間中、全ロータリー・クラブは、世界理解と親善を推進するプロジェクトや活動を強調することになっています。

1983年からは、23日は世界理解と平和の日に指定されています。

ロータリアンは、これまでいろいろな方法でこの機会を生かすように工夫してきました。例えば、インドのあるクラブでは、『大使の討論会』を主催して、8カ国の外交官に参加してもらい、人間の尊厳と平和について討論しています。

フィリピンのあるクラブでは、12カ国の留学生18人を月間中の例会ゲストとして招待しました。

また、留学生や外国からの訪問者を招いて、国際親善の集まりをもっているクラブもあります。これなど典型的な催しといえましょう。

しかし、どのようなプロジェクトや活動を選ぶにせよ、世界理解月間の精神は、年間を通して抱き続けるものです。ロータリアンには異邦人はいません。単に他の人々、他国の友人であります。この友情から始まって、ロータリーの奉仕を世界中に広げる機会が生まれます。

◎伊藤会長より2月はロータリー創立記念日（2月23日）なので、それに関するお話しがありました。

ポール・ハリスはその著『The Rotarian Age』で「ロータリーの如き運動の発芽として20世紀の初頭程に絶好の時期はなく、同時にそれを育成し確乎たる方向に示すべき土地としては、この攻撃的男性的な、しかもエセ理屈の多いシカゴの地ほど適切な都市はなかった」と述べている。

シカゴは当時中部アメリカの熔鉱炉といわれてここに住む人は「I Will、やる」という精神に燃え立っていた。しかし当時荒廃の町といわれたシカゴの市民の胸中にひそむこの「I Will」の精神を市民生活における文化的正義のた

めに結集して、後年世界に広がるロータリー運動を可能にしたのは、偉大な指導者ポール・ハリスとその運動に加わった彼の数人の友人であり、その発端と発想は正に歴史的に記念すべきものと思われま

す。1905年2月23日の寒い夜、石炭商のシルベスター・シール、洋服商のハイラム・ショーレ、鉱山技師カスターバス・ローアとポール・ハリスの4人がイタリア人の経営するスパゲティ料理で有名なマダム・ガリの店で夕食を共にしたあと、ディアボン街にあるユニティ・ビルの711号のローアの事務所に集り、一業一種会員を原則とする、親睦と職業上の相互扶助を目的とする、それ迄5年間ポール・ハリスが胸中で煮つめていたClubの基本精神を一緒に相談した。

R.Iはこの記念すべき会合の日をロータリーの創立記念日とした。(その後、1929年ダラスの大会でR-29-12として正式に決議された)

次の会合で印刷屋のハリー・ラグラスが加わり、次いで不動産屋のウイリアム・ジェンセンが入って来た。

3月9日にシールの事務所内にクラブを置き、3月21日にシールを会長とし、ジェンセンが会計として、ともかくもClubの形が整えられた。

Clubの名ははじめ「ブースター」Boosterと言われていたが、会合は互いに回り持ちにし、会長、役員、それに会員までも一年毎に改められるところからポール・ハリスの提案で「ロータリー」と名付けられ、隔週1回会合することとなった。

◎ 出席報告

会 員 数	66名	出 席 率	函 館 北 1月27日	88.71%
出 席	38名		函 館 東 1月26日	94.05%
欠 席	28名		函 館 1月21日	95.68%
他クラブ出席	17名		函館五稜郭 1月22日	100.00%
出席合計	55名		函館亀田 1月25日	96.68%
除 外 者	4名			

次回・2月17日  
プログラム

夜間例会(クラブアッセンブリー)

一乃松 午後6時30分



# 函館北ロータリークラブ会報

クリフォード・L・ダクターマン 国際ロータリー会長テーマ

まことの幸福は人助けから

REAL HAPPINESS IS HELPING OTHERS

伊藤康男会長 今年度のテーマ

「ロータリーは楽しく、ロータリーは優しく、そしてわずかの厳しさを、



雷 電 風 景 (昭和52年作) 故池田甚三郎画伯

《第1431回例会》 第31号 2月17日(水)

本日のプログラム

夜間例会(クラブアッセンブリー)

一乃松 午後6時30分

★会 長 伊藤 康男 ★幹 事 藪下 義晴